

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■評価用マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田古江台5丁目計画 新築	階数	地上8F、地下1F
建設地	吹田市古江台5丁目91番16の一部	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、千里ニュータウン	平均居住人員	902 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2017年4月17日
敷地面積	11,719 m ²	作成者	株式会社D&D建築設計事務所
建築面積	3,690 m ²	確認日	2017年5月23日
延床面積	21,315 m ²	確認者	株式会社D&D建築設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%
②建築物の取組み 77%
③上記+②以外の 77%
④上記+ 77%

0 46 92 138 184 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.4

音環境	3.3
熱環境	3.7
光・視環境	2.8
空気質環境	3.4

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.7

機能性	2.5
耐用性	2.8
対応性	2.8

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.4

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.6

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.9
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8

水資源	3.0
非再生材料の	2.8
汚染物質	2.6

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

地球温暖化	3.9
地域環境	3.0
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
周辺環境を考慮した配置計画とした。	特になし。	
Q1 室内環境 材料・建材はほぼ全面F☆☆☆☆を使用した。	Q2 サービス性能 劣化対策等級3で長く使用できるよう配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 道路・隣地境界沿いに緑地を設け、周辺の自然と調和した緑化空間を形成した。
LR1 エネルギー 断熱材の厚さを確保し、熱負荷抑制に努めた。	LR2 資源・マテリアル 特になし。	LR3 敷地外環境 照明計画では道路及び隣地に対する光害への配慮を行った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0022

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)吹田古江台5丁目計画 新築工事					
	建設地	吹田市古江台5丁目91番16の一部					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					3	
	みどり・ヒート アイランド対策					2	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					対象外	

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.9	4	
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体 1.0 住戸・宿泊 4.0	3
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.9	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.0	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項	特になし。			